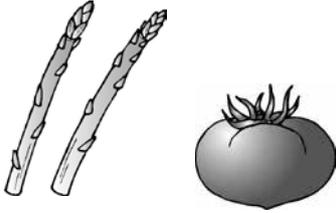


ふるさと納税

問 ふるさと再発見プログラム調査研究事業について、農産物など地域資源の活用方法は。

答 現在のふるさと納税の返礼品は、製造関係が全体の9割程度を占め、農産物等がその残りとなっています。毎年寄附をしていただくには、やはり農産物を地域の特産品として外部に発信するとともに、地域の方にも発信することにより、再発見、再発掘し、新たな返礼品や既存の返礼品についても、さらに磨きをかけて提供していく取り組みが必要であると考えます。



地籍調査

問 地籍調査事業の現在の進捗状況と今後の補助金の見通しについて。

答 令和元年度末で35%進捗します。今のところ、補助金がどこまで措置されるのか聞いていませんが、むしろ今問題となっている、全国でおよそ20%ある所有者不明の土地について、その利活用を促進するため、令和2年度に法改正があると聞いています。

学校教育

問 小学校学習用パソコンの整備によって、学習内容はどうなるのか。

答 小学校4年生から6年生に1人1台のパソコンを導入し、各教科横断的にパソコンを使用していきます。学習内容は、加西市全体で教育内容の標準化を図っていきます。

建設経済厚生常任委員会

特別会計と企業会計の予算案は、建設経済厚生常任委員会において審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。

国民健康保険特別会計

問 県に一本化された中での保健事業の独自性は。

答 保健事業の検診の受診率の向上や医療費通知、ジェネリック通知の成果は、保険者努力支援制度で交付金が絡んできますので、各市町が独自性を発揮して今後も継続していけるのではないかと考えます。

水道事業会計

問 栗田ポンプ場の建設事業について。

答 市川水系にかわるバックアップ機能を持ち、市内北部に加えて鴨谷、明神山、滝野、西脇市に水を送る広域のポンプ施設です。工事は令和2年、3年度の2カ年かかり、全体で約15億円を考えており、県負担が約6億円、残り約9億円は加西市の持ち出しになります。

介護保険特別会計

問 65歳以上の免許証返納者の方へのタクシー券のチケット配付について。

答 24枚のチケットの交付で、80%近い方が1枚の利用という実態です。枚数に制限があるため、すぐに全部を使う方が少ないのが現状です。令和2年度は枚数を倍にし、月2回程度の外出に利用していただけるのではと考えています。

病院事業会計

問 加西病院の現状と、今後の方向性について。

答 将来構想検討委員会を立ち上げた2年前と比べ、地域医療を取り巻く環境もかなり変わっています。その点は基本計画の中で修正し、より客観的データに基づいて県や神戸大学の意向も聞きながら、播磨地域の中で加西病院が担う役割をしっかりと見据えた上で、収支均衡を図ることができるような体質へ経営努力を続けていこうと考えています。

(市長) 市民の思いと加西市として経営できること、そして神戸大学が医師を派遣するという形で支援できることのバランスをとっていく作業が大変重要で、そこが今後非常に大事であると思っています。



後期高齢者医療特別会計

問 保険料の改定について。

答 今回の改定では、所得割率が現行の10.17%から10.49%に、均等割額は現行の4万8,855円から5万1,371円と2,516円の増加となります。